

初歩からはじめる品質活動

基礎コース

品質は会社の命であり、社員一人ひとりにとっても命です。品質問題は会社の存続をも決定づけてしまいます。品質管理（QC）の手法だけでなく、ここでは、モノづくり品質の基本となる現場での実践の考え方や方法を、体験を踏まえ、随所に失敗事例なども交えながら、わかりやすく解説します。実践に役立つ演習もより充実させています。

プログラム

対象 ものづくり現場のリーダー
(中核人材)の皆様
経験年数5～10年程度

定員 30名

時間 9:30～16:30 6時間
(9:00から受付)

日程 平成28年 4月21日(木)

会場 岐阜工業高等専門学校
図書館 多目的ホール

研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度（フォローアップ）を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。（有料）

講師紹介

岩井 静克

1. 品質の重要性を理解する

- 1 会社、方針、社員、仕事すべてが品質である
- 2 品質は会社の命、みんなの命である

2. 品質管理の基本を理解する

- 1 全員による推進がキーポイントになる
- 2 お客様満足、「お客様ってだれのこと？」
- 3 「P-D-C-A」のサイクルをまわす
- 4 3現主義（現場、現物、現実）を実践する
- 5 QC手法を活用する

3. 品質管理を職場で実践する

- 1 QCストーリーで問題解決
- 2 品質改善はここからはじまる、「5S」と「挨拶」
- 3 品質管理は教育で始まり、教育で終わる
- 4 「改善活動」と「標準化」がセットで進歩がある

4. もし品質問題が起ったら

- 1 「公明正大」が信頼の基本になる
- 2 答えは現場、現物にあり、不良品は大切にせよ
- 3 迅速な対応と処置の仕組みづくり
- 4 「報・連・相」の実践が異常の早期発見につながる

5. 職場で品質向上運動を進める

- 1 「後工程はお客様」7つのポイント
- 2 4Mで「何か変だな」変化点を見る
- 3 「なぜなぜ5回」で問題の真因を追究する 【演習】
- 4 “ミス”を見据えてしっかり「ボカよけ」 【演習】

大手電機メーカーにて、電気製品の設計、部品材料の研究開発、製造部門責任者として技術、調達、生産管理、製造、品質管理など全般の管理を担当。現場での品質管理の豊富な経験を生かし、全社の「品質ノウハウ集」作成の主査も担当。ロボット製造並びにそのシステム製造メーカーにおいては製造部門の担当役員として全般の管理とともに、品質管理責任者としてISO導入とその維持管理を推進。品質内部監査体制の構築や人材育成に貢献。特に製造分野の管理者育成指導に定評がある。